

(別紙1)

■白山国立公園におけるこれまでの外来植物対策

昭和50年の時点で、オオバコなどの低地性植物が標高2,100m付近にまで確認されてきました。平成13年からは、石川県白山自然保護センター(以下、「自然保護センター」という。)が中心となって、外来植物の分布に関する調査研究が継続して行われています。

平成16年からは、自然保護センターが主体となって、外来植物除去イベントを開催し、高山域や登山口などで対策が行われています。平成19年からは、環白山保護利用管理協会(以下、「環白山協会」という。)が、石川県との共催で実施していた活動に加え、岐阜県や福井県でも除去作業を実施し、広域で対策が行われています。

環境省は、平成19年から、登山口や利用者の通行が多い地点(平成22年は8地点)で種子除去マットを設置し、外来植物の種子が高山域へ広がらないように対策を行っています。また、平成22年には、富山、石川、福井、岐阜の4県全域で、主要な園地、駐車場、休憩所等の利用拠点及び登山道沿線の外来植物の分布状況を調査し、33種の外来植物が生育している状況や外来植物が高山域に定着して分布を広げている状況、在来植物と外来植物の交雑が懸念される箇所を確認しました。調査結果は、外来植物対策に関わる関係者で構成する検討会に報告し、今後の対策を検討するとともに対策の優先順位などを確認しました。

<これまでの対策及び平成23年度以降継続・実施する対策(予定)>

| 対策実施内容(実施箇所数・実施対象) | 実施年度 | 実施主体 |
|---------------------------------------------------|--------|------------------------------------|
| 外来植物の分布に関する調査研究 | 平成13年～ | 自然保護センター |
| 外来植物除去イベント(8箇所) (平成23年度新たに1箇所追加) | 平成16年～ | 自然保護センター、 環白山協会、中部地方 環境事務所ほか |
| 工事用車両タイヤ洗浄プールの設置・運用 (細谷工事用道路入口) | 平成18年～ | 国土交通省金沢河川 国道事務所 |
| 種子除去マットの設置(13箇所) (平成23年度新たに5箇所追加) | 平成19年～ | 中部地方環境事務所 |
| 登録ボランティアによる外来植物除去(石川県側 の登山道)(平成23年度新たに釈迦新道で追加) | 平成19年～ | 自然保護センター、 環白山協会 |
| 外来植物と在来植物の交雑の研究 (オオバコとハクサンオオバコ) | 平成20年 | 自然保護センター、 中山祐一郎、柳生敦志 |
| 工事作業員の種子侵入防止対策 (エアブラシの使用、長靴の履き替え) | 平成20年～ | 国土交通省金沢河川 国道事務所 |
| 主要利用拠点、登山道沿線の外来植物分布調査 | 平成22年 | 中部地方環境事務所 |
| 白山国立公園生態系維持回復事業検討会の設置 | 平成22年～ | 中部地方環境事務所 |
| 駐車場の舗装化・維持管理(別当出合駐車場) | 平成22年～ | 中部地方環境事務所 |
| 発見された特定外来生物の除去(石徹白登山口: オオハンゴンソウ、三ツ谷:オオキンケイギク) | 平成23年～ | 自然保護センター、 環白山協会 |
| 外来植物と在来植物の交雑の研究 (タカネスイバとエゾノギシギシ) | 平成23年 | 中部地方環境事務所 |